

指令第七號 一九三四年一月十九日

予算町村會ニ對シテ

全國農民組合中央常任委員會

一、働ク農民大衆ヲ自發的ニ動員セヨ

税金ヲキメ、ソノ使用方法ヲキメル予算町村會ガ近ツイタ。働勞農民生活保證全國運動ト結びツケテ先ツ、自發的ニ大衆ヲ動員セヨ。現ニ問題トナツテキルコト、働勞農民ノ胸ニ灼キツイテル不平不滿例ヘバ

- 土木事業、學校ノ敷地ヤ改築問題ニカラム不正事實
 - 政府拂下米ニ對スル町村ノ怠慢ヤ延納要求ニ對スル冷酷
 - 農會ト技術員ノ失敗ニ對スル不平
 - 補助金ヤ資金融通ノ割當不公平 ナド
- ヲ提ヘテ、ソコカラ大衆ガ積極的ニ動キ出スヨウニスルコト。

二、要求

- 一、義務教育費ハ全部國庫カラ
- 一、特別戸數割ハ基準ヲ引上ゲテ働勞所得部分ヲ控除セヨ
- 一、自小作農ノ家屋稅附加稅ヲ引下ゲヨ
- 一、自轉車附加稅ヲ引下ゲヨ
- 一、特別地稅附加稅ヲウント引下ゲヨ（五反以下ノ自作者ニ納稅能力ナシ）

(註)

予算町村會チハ、戸數割ト家屋稅附加稅ハ全額ダケヲ決メルノチアルカラ、全額引下ノ要求ヲスルコト、ナロウ。ソレヲ次ノ各調査委員會ニ割コミ、決定ノ村會ナリ、上申ノ村會ナリヲ有利ニ圖フコトチアル。

- 一、農會、産組ヘ出ス金ヲ割ツテ部落實行組合ヘ
- 一、百姓道場反對、反動的精神作興ヘ金ヲ出スナ、診療所、托兒所